



Title	表紙 目次 編集後記
Author(s)	
Citation	関西大学東西学術研究所紀要, 42
Issue Date	2009-04-01
URL	http://hdl.handle.net/10112/2807
Rights	
Type	Others
Textversion	publisher

関西大学

東西学術研究所紀要

42

「砂の中で狂う泥鰌」…………… 伊藤 徹 (1) — 夏目漱石『行人』の語り	
道德教育における主従関係の近代…………… 高橋 文博 (41)	
『哲学一夕話』第一編にみられる 井上円了の中道哲学…………… 小椋 章浩 (69)	
<hr/>	
謝冰心と家塾…………… 萩野 脩二 (1)	
清末山東半島と朝鮮半島との経済交流…………… 松浦 章 (23)	
中央アジア・ウズベクの刺繍布(スザニ)…………… 福田 浩子 (37) — アイ・パラックと呼称される一群について —	
海外からの植物移送・保存技術に関わる史料(翻刻) …… 野間 晴雄 (51) — 大英帝国プラントハンターの元締めJ.バンクスによる手引き書 —	
伝説と集合的記憶…………… 溝井 裕一 (61) — 伝説において過去はいかに「想起」されるのか —	
西洋人记录的世紀之交の新汉语…………… 沈 国威 (101)	
「発想」の成立と展開…………… 陳 贇 (113)	
略論李鴻章早期對日外交中の“聯日”思想…………… 薄 培林 (133)	
研究班・題目一覧(平成21~22年度)・ 平成19~20年度 研究報告書…………… (153)	

平成二十一年四月

関西大学東西学術研究所

東西学術研究所紀要

第四十二輯

(二〇〇九年四月)

関西大学東西学術研究所

BULLETIN OF THE INSTITUTE OF ORIENTAL AND OCCIDENTAL STUDIES, KANSAI UNIVERSITY

No. 42

APRIL 2009

CONTENTS

A Mudfish Hopelessly Thrashing in the Sand: The Narrative of Natsume Sōseki's <i>Kōjin</i> (<i>Wayfarer</i>)…………… ITO Toru (1)	
The Modernity in the Master-Follower Relationship in Moral Education…………… TAKAHASHI Humihiro (41)	
Inoue Enryō's Philosophy of the Middle Way in the First Chapter of His <i>Tetsugaku Issekiwa</i> …………… OGURA Akihiro (69)	
<hr/>	
Xie Bingxin and Private Schools…………… HAGINO Shuji (1)	
Economic Exchange between the Shandong and Korean Peninsulas in the Late Qing Period…………… MATSUURA Akira (23)	
On the Embroidery Cloth Called <i>Suzani</i> in Central Asia: With Special Reference to Its <i>Ai Palak</i> Type…………… FUKUDA SIDDIQI Hiroko (37)	
An Historical Document on "Rules for Collecting and Preserving Specimens of Plants" Written by Joseph Banks (1796)…………… NOMA Haruo (51) — Plant Hunters' Manual in British Empire in the End of 18th Century —	
Legend and Collective Memory…………… MIZOI Yuichi (61) How to "Remember" the Past in Legend?	
The Missionaries and New Chinese language at the turn of 20th Century: analyzing the two books by A. H. Mateer and E.Morgan…………… SHEN Guowei (101)	
The Emergence and Development of the Term <i>Hassō</i> (発想)…………… CHEN Yun (113)	
"Alliance with Japan" in the Early Diplomatic Thoughts of Li Hongzhang concerning China-Japan Diplomacy…………… BO Peilin (133)	
Summaries of the Research, 2009~2010・Research Report, 2007~2008…………… (153)	

EDITED BY
THE INSTITUTE OF ORIENTAL AND OCCIDENTAL STUDIES
KANSAI UNIVERSITY, OSAKA

編集後記

二〇〇五年は、私が関西大学に赴任した記念すべき(?)年であるが、関西大学・東西学術研究所においても大きな改革が行われ、開かれた研究体制の構築を目指すこととなった年である。それは、研究分野を「日本」「アジア」「比較文化」「言語・思想」とし、それぞれの研究分野において、二つの研究班を設置して研究活動を推進していくものである。ただ、二〇〇五年度の時点では、改革前の研究班の一部が研究活動を継続していたので、「日本」分野で一つの研究班、「比較文化」分野で二つの研究班、「言語・思想」分野で一つの研究班が先行発足した。そして二〇〇七年度に「日本」分野で一つの研究班、「アジア」分野で二つの研究班、「言語・思想」分野で一つの研究班が新たに発足し、ここに八研究班体制が整った。これらの研究班は公募制で、選考にあたっては、外部の視点も導入することが試みられ、研究所長のもとに「幹事」が置かれることとなった。また、これら研究班の任期は一期二年で、二期四年を限度とすることによって、研究員の長期固定化を防ぎ、また学外の研究者を委嘱研究員とすることで、研究活動を活発なものにする試みがなされた。

二〇〇五年には、もうひとつ特記すべきことがある。それは文部科学省の私立大学学術研究高度化推進事業の一環である「学術フロンティア推進事業」に採択され、「アジア文化交流研究センター」が発足したことである。

二〇〇八年度は二〇〇五年度から発足した新体制下の四研究班の

研究活動の区切りをなす年であり、今号に投稿された論考のうち、野間(比較文化研究班)、溝井(世界習俗研究班)の論考はその研究成果である。また福田(中央アジア文化研究班)、沈(言語研究班)、伊藤、高橋、小椋(ともに明治期思想文化研究班)の論考は、現在継続中の研究班の研究成果である。さらにアジア文化交流研究センターの松浦(センター長。二〇〇九年から東西学術研究所長を兼任)、陳、薄の三論考と、二〇〇八年度まで研究所幹事を務めた萩野の論考も収めることとなった。

各研究班とも、新体制下での研究活動であり、まだまだ戸惑いながら模索している面もある。そのような状況にあつて、今号は十一本の研究成果を公表できるにいたったことを喜びとしたい。

(森部 豊)

平成二十一年四月一日発行

編集者

関西大学東西学術研究所

印刷者

所長 松浦 章
株式会社 遊 文 舎

〒五六四一八六八〇

大阪府吹田市山手町三丁目三番三五号

発行

© 関西大学東西学術研究所

電話 〇六一六三六八一 一七九番

FAX 〇六一六三三九一 七七二番